

環境シンポジウム 2022

趣旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会 | 住宅部会は、昨年、2050年カーボンニュートラルの実現を含む、新たな環境ビジョンを策定、「脱炭素ロードマップ」に基づき、住宅におけるZEHやZEH-Mの推進、工場における再エネの導入など、商品・モノづくりの両面から脱炭素の取り組みを加速しています。

一方、持続可能な社会を実現するための社会、経済システムとして注目されているサーキュラー・エコノミー（循環型経済）への移行に向けては、これまで推進してきた3Rや廃棄物のゼロエミッションを超えた、新たな取り組みが求められています。そこで、本シンポジウムでは、特別講演を通じて、サーキュラー・エコノミーの本質を理解し、住宅産業界の新たな価値創造の方向性を探るとともに、会員各社の幅広い先導事例を共有し、住宅市場における工業化住宅の魅力を再考します。

日 時 2023年1月24日 火曜日 13:00～17:00（受付12:30）
会 場 出版クラブホール（東京都千代田区神田神保町1-32） ※神保町駅徒歩2分
開催形式 会場セミナー（後日配信あり ※期間限定）

特別講演

サーキュラー・エコノミーがビジネスを変える



梅田 靖 東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター 教授

東京大学工学部助手、講師を経て、1999年4月より東京都立大学大学院工学研究科機械工学専攻 助教授、2005年2月より大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授。2014年1月より東京大学教授、2019年4月より現職。その他、グリーン購入ネットワーク会長、エコマーク運営委員会委員長、精密工学会ライフサイクルエンジニアリング専門委員会委員長などを務める。専門は、ライフサイクル工学、サステナブル・マニファクチャリング、次世代ものづくり、設計学、メンテナンス工学。主な著書『サーキュラーエコノミー～循環経済がビジネスを変える』（勁草書房）。

【講演要旨】

EU発の政策として「サーキュラー・エコノミー」が急速に広まっており、脱大量生産・大量廃棄型のビジネスモデルが求められている。本講演では、このサーキュラー・エコノミーの考え方の基本を整理した上で、変革が求められているバリューチェーンを通じた価値提供ビジネスの在り方とそれを実現するための方向性を議論する。

スケジュール

13:00～13:10	開会あいさつ	住宅部会長代行 トヨタホーム 渡辺 和人	(10分)
13:10～14:25	特別講演「サーキュラーエコノミーがビジネスを変える」	梅田 靖 教授	(75分)
14:25～14:45	環境分科会からの報告	（住生活向上推進プラン（環境指標）2021年度実績ほか）	(20分)
14:45～15:00	（休憩）		(15分)
15:00～16:30	事例発表		(90分)
	・トヨタホーム	産官学5者連携による街づくりプロジェクト「BRIDGE LIFE Platform 南栗橋」 街づくり事業部 街づくり開発室 東日本企画G 尾崎 彰彦氏	(30分)
	・ミサワホーム	持続可能な未来につながるコンセプト住宅『グリーン・インフラストラクチャー・モデル』 商品・技術開発本部 商品開発部 企画デザイン課 仁木 政揮氏	(30分)
	・旭化成ホームズ	LONGLIFEを支える顧客サービス HEBELIAN NET.（ハーベリアンネット） LONGLIFE戦略部 清田 恒平氏	(30分)
16:30～16:40	閉会あいさつ	プレハブ建築協会 専務理事 臼井 浩一	(10分)

主催：一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会